事例No.	3155
公表年度	R6
団体の属性	都道府県
団体名	東京都

事例区分	DX

タグ	・AI ・組織改革

事例種類	DX

事例内容・タイトル

東京都における生成AIへの取組について

出典

地方自治体のデジタルトランスフォーメーション推進に係る検討会（第28回）①

東京都における生成AIへの取組について

東京都
デジタルサービス局デジタル基盤部

東京都の歩み

令和5年4月	プロジェクトチーム結成
令和5年6月	デジタルサービス局内で先行利用を開始
令和5年8月	**Azure OpenAIを利用した文章生成AI環境を提供** • 利活用ガイドラインを公開 • アイデアソンを実施するなどの利用拡大に向けた施策を実施 • 導入効果や課題を確認する為のアンケートを実施
令和5年10月	**導入効果や課題を確認する為のアンケートを実施**
令和6年1月	**具体的な活用場面や効果的なプロンプトを集めた活用事例集を作成**
令和6年4月	**Microsoft Copilotの利用を開始** • 利活用ガイドライン version 2.0を公開 • Microsoft Copilotを利用できない職員には、 引き続きAzure OpenAIを利用した環境を提供

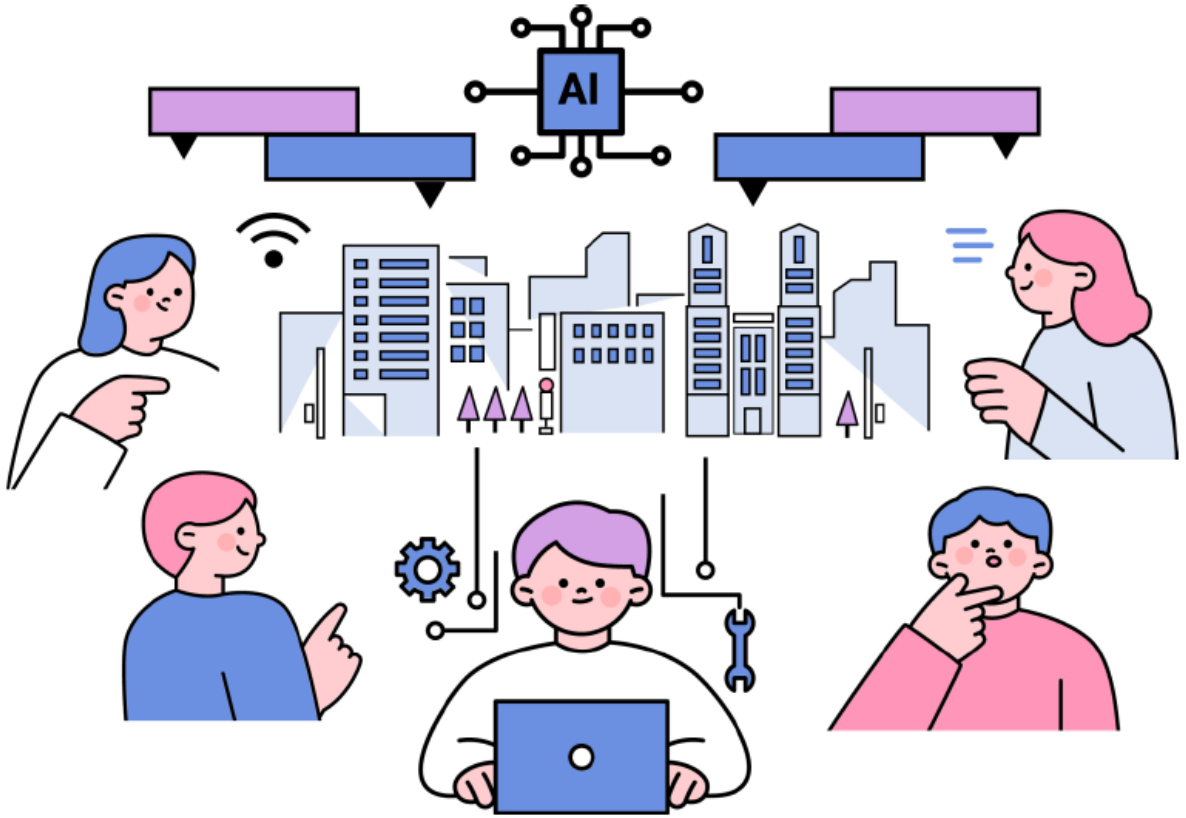
文章生成AI利活用ガイドライン

https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/digitalservice/ai_guideline/

文章生成AI
利活用
ガイドライン

Version 2.0

令和6年（2024年）4月
東京都デジタルサービス局



文章生成AI利活用ガイドライン（抜粋）

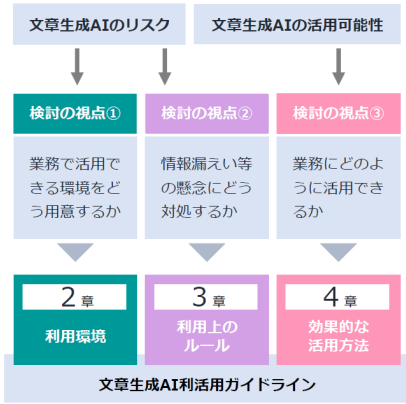
1章 文章生成AIについて
2章 利用環境
3章 利用上のルール
4章 効果的な活用方法
5章 今後の展望

3 都の取組の方向性

都はこれまで、AIを様々な業務で活用し、業務の効率化等を推進してきました。

そして、 令和5年4月には、文章生成AIの活用に関して、デジタルサービス局にPTを立ち上げ、**文章生成AIのプラス面とマイナス面を見極めながら検討を重ねてきました。**

今後、右の3つの視点を踏まえて取りまとめた**このガイドラインをもとに、様々な行政分野での活用を進めていきます。**



1 都における利用環境

インターネット上の公開された環境で文章生成AIを利用すると、入力内容が学習データとして保存されるなど、情報漏えいにつながるリスクがあります。

東京都では職員が文章生成AIを業務で活用するための環境として、令和6年４月から「Microsoft Copilot※1」の利用を開始します。「Microsoft Copilot」を利用できない一部の職員に対しては、「Azure OpenAI Service※2 」を使った利用環境を引き続き提供します。いずれのサービスにおいても、以下の点を確認し、データの漏えいリスクを可能な限り低減しています。

- **入力データが学習目的で利用されない**
- **入力データの保存をサーバー側で行わない**



※1　商用データ保護を備えたCopilot（旧称：Bing Chat Enterprise）。GPT-4の学習データ＋Bing検索結果。
※2　ChatGPTをMicrosoft Azureの環境で使用できるサービス。職員の入力データがサーバー側に保存されないようにするためのopt out機能を利用

2 職員が守るべきルール

庁内の共通基盤で文章生成AIを利用する際のルールは以下４点です。

ルール 1	**個人情報等、機密性の高い情報は入力しないこと**
ルール 2	**著作権保護の観点から、以下の点を十分注意し、確認** ・既存の著作物に類似する文章の生成につながるようなプロンプトを入力しないこと ・回答を配信・公開等する場合、既存の著作物等に類似しないか入念に確認
ルール 3	**文章生成AIが生成した回答の根拠や裏付けを必ず自ら確認**
ルール 4	**文章生成AIの回答を対外的にそのまま使用する場合は、その旨明記**

※　本ガイドラインではルールをわかりやすく４点にまとめていますが、生成AIの取扱いについては一般社団法人日本ディープラーニング協会の生成AIの利用ガイドラインも参考にしてください。

1 文章生成AIの効果的な活用に向けて

東京都における**効果的な活用方法を模索するため**、まずはデジタルサービス局において**アイデアソンを実施**し、職員の自由な発想のもと様々なアイデアを創出し、その実践に取り組みました。

検討PTで103個のアイデアの分類を行った結果、行政分野において、役に立つと考えられるアイデアには、**有効な分野とプロンプトの手法があることが分かりました。**

次頁以降、有効な活用分野とプロンプトの手法について解説していきます。

アイデアソン（１回目） ４月下旬	文章生成AI活用に係るアイデア出しを実施し、約200個の幅広なアイデアを創出
デジタルサービス局で先行利用開始 ６月中旬～	デジタルサービス局職員（約300人）が先行実施環境により、実務面での活用を開始
アイデアソン（２回目） ６月下旬	１回目のアイデアソンも踏まえ、デジ局職員から実務に根差した約200個のアイデアを収集 グループワークにおいて活用可能性の高い103個の事例を抽出

https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/digitalservice/ai_prompt



文章生成AI活用事例集（抜粋）

1-4 プロンプトとは

『プロンプト』とは、**文章生成AI**から**応答を引き出す**ための**指示・命令文**です。
回答は、プロンプトを基にしか出力されないため、条件を提示せず、漠然と入力するだけでは、求めている回答は得られません。
そこで、最初に必要な情報を引き出し、プロンプトの入力を重ねることで、質の高い回答に近づけることができます。次ページからはそのためのコツを紹介します。

Step 1

必要な情報を引き出し、整理する

立場をはっきり
- 行政分野や立場、文章生成AIに与える役割 等

目的・背景を具体的に指定
- 前提条件、課題を整理

出力形式を指定
- 文字数、英語、箇条書き 等

Step 2

視点を加えて質の高い回答を導く

プロンプトを重ねて回答をブラッシュアップ
- 追加質問や、Step 1でうまく回答を得られなかった情報を再度入力

7

1-5 プロンプトのコツ①

＃ハッシュタグで情報整理

プロンプトの内容を**＃ハッシュタグを使って整理し**、指示内容を明確にしていくことで、文章生成AIに出力させる回答をより詳細・適切にしていくことができます。

「＃」部分は、項目の見出しの役割を果たし、そのままプロンプトに入力して**説明行**として利用します。

（【 】などの記号で整理することもできます。）

プロンプト

以下の税金に関して説明して下さい
#税金の種類
　住民税
#出力形式
　小学三年生にも理解できるように、漢字の熟語はできる限り使用せず、ひらがなの言葉で説明すること
　200文字以内で

定量的かつ具体的な表現

プロンプトを**具体化する**ことで、より業務内容に沿った詳細・適切な回答を出力させることができます。

例えば、単に挨拶文の作成指示をするだけでなく、聞き手や強調したいポイント等、具体の内容を入れていくことで、より中身の濃いしっかりした挨拶になります。

プロンプト

下記の内容で、簡潔な文章を作成してください
#話し手
　デジタルサービス局長
#聞き手
　部下の職員
#内容
　年始のあいさつ
#強調したいポイント
　都民のためにデジタルサービスの向上に取り組む
#分量
　200文字程度

8

1-5 プロンプトのコツ②

「キーワード」を入れる

より高品質にするためのキーワード
「ベストプラクティス」「最高の」「最高品質」

プロンプト　目指したいゴールを実現するための**ベストプラクティス**な企画を提案してください。

論理的に考えるためのキーワード
「ステップバイステップ」「段階的に」

プロンプト　**ステップバイステップ**で記載してください。

期待どおりの回答がでない場合のキーワード
「厳格に」「厳しく」「厳密に」

プロンプト　**厳密に**チェック項目ごとに、箇条書きでコメントしてください。

出力形式を指定する

文字数等の出力形式を変える

プロンプト
- **200字以内**で示して
- **箇条書き**で示して
- **5項目**を挙げて

表現を変える

プロンプト
- **小学生３年生**でもわかる表現にして※
- **イギリス**英語or**アメリカ**英語で
- **カジュアル**英語or**フォーマル**英語で
- **ですます**調or**である**調で

※ 単に『小学生』だと6年生を対象とした回答がでることもありますので、学年を指定するなど、年齢を限定するとよいでしょう。

回答内容をよりわかりやすくする

プロンプト
- **さらにわかりやすい**表現にしてください
- 要点を**簡潔に**まとめてください
- 専門用語の**説明を追加**して下さい
- **不要な回答部分**がありますので、＿＿＿＿については削除してください

9

https://note.com/kouzoukaikaku/n/n6759d9fce454

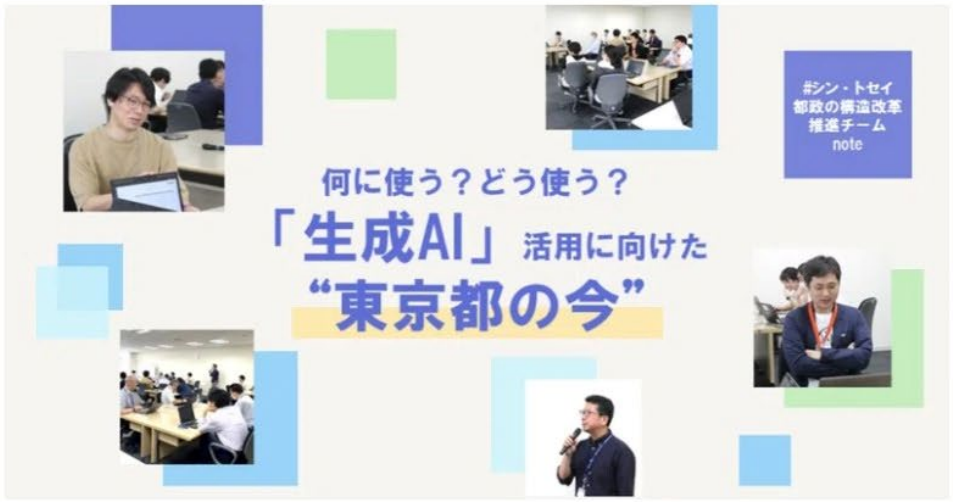
note キーワードやクリエイターで検索 ログイン 会員登録

«

QOS #シン・トセイ 都政の構造改革推...

都政の構造改革推進チームです。
"東京が変わる。そのために都政が変わる" デジタルの力で都政の仕事を大きく転換し、都政のサービスの質（QOS：クオリティ・オブ・サービス）の飛躍的な向上を実現していきます。
https://shintosei.metro.tokyo.lg.jp/

フォロー



何に使う？どう使う？「生成AI」活用に向けた“東京都の今”

♡ 120

QOS #シン・トセイ 都政の構造改革推進チーム（東京都 公式）
2023年6月30日 15:00

♡ 120

note（抜粋）

生成AIの利用環境をどうやって整備する？

問い合わせが最も多かったのが「職員の利用環境をどのように整備するのか」という点でした。
東京都ははじめ、無償の対話型AIサービスの利用を検討しましたが、質問内容がAIの学習データとして使われるなどの懸念点があり、別の方法を検討しました。
そこで、民間事業者やITベンダー等と意見交換を重ねながら検討を行い、**質問内容や回答がサーバ側に保存されない措置（optout申請）を取ったうえでChatGPT（GPT-3.5）を使用**することにしました。
併せて、最小限のコストで早期に生成AIの利用環境を提供するために、職員がノーコード開発ツールを活用してユーザーインターフェースを開発し、**6月中旬からデジタルサービス局の職員を対象に先行利用を開始**しました。



職員が構築した入力画面

生成AI活用にあたっては、使い方や順守すべき事項をまとめたe-ラーニング（解説・動画）を職員が作成し、全員に受講を義務付けています。
デジタルサービス局内での利用状況を踏まえ、今後の全局展開に向けた準備を進めています。

生成AI VS 都庁採用試験

突然ですが、都庁職員採用ページで公開されている試験問題（令和5年度Ⅰ類事務A教養）40問のうち、図表やグラフを読み解く問題等を除く22問を現在使用している生成AIに入力してみました！

結果は・・・

分野	質問数	正答数	正答率
数的推理	6	1	17%
知識（自然科学）	4	3	75%
知識（歴史・地理）	4	0	0%
法律・行政	2	0	0%
時事（経済・法改正・外交等）	6	3	50%
合計	**22**	**7**	**32%**

試験結果

22問中正解は7問、**正答率は32%**！・・・おやおや？
あくまでも一担当としての推測ですが、この試験結果から以下のような特徴が考えられます。

・文章のつながりを類推して文章を生成するため数的推理は苦手？
・事実関係をはっきり特定する検索的な使用には向かないので、それ以外の用途の模索が必要？
・プロンプトを工夫すれば、正答率は向上の余地あり？